

福寿地域防犯パトロール隊(羽島市)

～I LOVE 福寿 地域は自分達で守ろう～

【団体のプロフィール】

代表者	山田 恒夫
結成	平成16年10月から
活動人数	(結成当時) 160人 (平成20年5月末現在) 305人
メンバー構成	自治会、消防団、PTA、子ども会、体育振興会他



(活動拠点の駅南防犯ステーション前にて)



(地域安全安心ステーション資材貸与式)

【活動のきっかけ】

- ・ JR新幹線「岐阜羽島駅」駅南地区における犯罪増加を懸念して、当時の自治会長が中心となって、各種団体に呼びかけを行い、地域において「自分たちの地域は自分で守ろう」という気運の高めていくとともに、地元の有志の方から寄附を受けた土地・建物を羽島市が防犯活動拠点「駅南防犯ステーション」として整備し、そこを拠点に活動するボランティア団体「福寿地域防犯パトロール隊」を平成16年10月に結成した。
- ・ 平成18年度には、警察庁から「地域安全ステーション」モデル事業実施地区に選定された。

【活動を始める際に用意したもの、最初の相談先】

用意したもの	<パトロール活動> ・ ジャンパー、帽子【 県環境生活政策課、岐阜羽島地区防犯協会 】 ・ 活動実施要綱
最初相談先	<パトロール活動> 羽島市防災交通課 岐阜羽島警察署生活安全課、岐阜羽島地区防犯協会

【活動区域、活動内容】

活動区域	福寿地区（福寿小学校校区及び竹鼻小学校校区の一部）
活動内容	<p><パトロール活動></p> <ul style="list-style-type: none">自治会メンバーは、夜間1時間程度、4班体制でそれぞれの地区をパトロールしている。【月2回以上。1班・10人体制】消防団メンバーは、消防訓練の後に、パトロールしている。【月2回以上。15人体制】PTAメンバーは、福寿小学校の一斉下校時にあわせて、パトロールしている。【毎月第4月曜日。20人体制】パトロール隊全員で、夜間1時間程度、一斉パトロールする。このときには、警察署とも連携して実施している。【夏・年末。約300人体制】



(パトロール活動風景)



(警察と合同の夜間パトロール)

【活動を継続的に行うために工夫していること】

- 年3回(年度当初、8月、12月)に、各種団体代表者による運営委員会を開催し、参加者の確保や、巡回ルート、日程などの実施方法について協議をしている。
- また、羽島市、岐阜羽島警察署及び岐阜羽島地区防犯協会等との連携を図り、合同パトロールの実施やパトロール資材や活動資金の支給を受けている。

※ 羽島市からの支援

- 自治会主体の10団体に対し、総額60万円を支給。
- 自治会主体の団体の所有する青色回転灯車両に対し、2～5万円を支給。

【これから活動を始めるボランティアの皆さんへのアドバイス】

- 「自分たちの地域は自分で守ろう」という気運が大切であり、地域でそのような意識を高めると共に、行政、警察等関係機関にも相談をしていただくと支援していただけたと思います。
- 最初は負担の少ない程度の計画で実施し、徐々に活動を広げていく事が良いと思います。